



第3回学校運営協議会を開催しました!

10月29日(火)に第3回学校運営協議会を行いました。まず、委員の皆さんには、5時間目の授業を見ていただき、その後、学校から、中間期の学校評価や、子ども達の体力、子ども達の生活の様子について説明の課題や成果について、体育主任と副主任、生徒指導主事も交えて協議を行いました。最後に、学校課題について熟議を行いました。テーマは

「たくましい子を育てるために ～子ども達の心のたくましさを 家庭・地域・学校でどう支えていくか～」

★「心のたくましさ」を家庭・地域がどう支えるか・・・

*地域で、子ども達にあいさつや話をする時、子どもの名前を呼ぶことで、大人がいつも自分達を見てくれているという気持ちになる。

*子ども達の生活経験や人との関わりが少ない。大人が用意した空間で過ごしている。いろいろな人と関わることで、たくましさがつく。

*川東の子は、素直で優しい。地域の人がよく見てくれている。しかし、「怒られる」「叱られる」経験が少ない。ちょっとしたことで、深く傷つき、乗り越えられない。

*家庭でも、地域でも、対話を大切に、積み重ねていく。その子、その子に強みがあり、いろいろな道があり、抜け出る道があることを対話の中で伝えていく。その積み重ねで「あなたを見つめている」というまなざしが通じる。

*どんな子でも受け入れ、認める。「あなたは大切な存在だ」という思いで接することで、安心してそこに居られる。



★学校の取組として・・・

現在の取組を継続していくことと、子ども達が、いつか社会に出るための「知識」「学力」を身に付けておくための「学力保障」を可能な限りしていくことが大切だ。



子ども達が、様々な人とのかかわりや対話の中で、心の居場所を見つけ、たくましく生きていくためのエネルギーを蓄えていける...そんな家庭・地域・学校でありたいと感じました。